

お知らせ

1.件名

富士山噴火を想定した

行政機関による机上演習を実施します

2.概要

- ・富士山噴火にともない発生が予想される降灰後の土石流等に対する対応について、国土交通省富士砂防事務所と富士山周辺の自治体が机上演習を行います。
- ・富士砂防事務所は、これまでも環富士火山防災連絡会や関係機関と連携して、富士山噴火に係る対応訓練を行ってきました。平成26年2月に富士山火山防災対策協議会が富士山火山広域避難計画を策定したことから、今年度は避難計画も踏まえ、噴火前後の時間経過に合わせた時系列の状況を具体的なモデルケースを使って設定し、各機関と対応の演習を行います。

3.日時

平成27年2月2日（月） 13:00～16:30（取材は13:00～13:20でお願いします）

4.場所

山梨県富士吉田合同庁舎2階大会議室（別紙）

5.配付先

富士宮市記者クラブ、富士記者クラブ、富士吉田市記者クラブ

6.その他

- ・取材を希望される報道機関におかれましては、1月30日（金）までに以下宛連絡願います。
- ・演習の取材は冒頭のみとし、その後は退室して頂きますのでご了承ください。
- ・災害など、不測の事態が発生した場合は中止することがありますので、ご容赦願います。

7.問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所

副所長 加藤 敏文

調査課長 大森 徹治

TEL 0544-27-5387

山梨県富士吉田合同庁舎位置図



庁舎の写真



昨年に引き続き DIG 方式の討論型の図上演習を実施する。

※ DIG (Disaster Imagination Game) とは

- ワークショップ形式の討論型図上演習
- 災害状況を時系列にしたがい連続的に与えるのではなく、ある場面を想定して、参加者が図面を中心とし、その場面で想定される被害や、災害により発生する被害に対して、取るべき対応などをイメージするもの
- 被害想定資料やハザードマップなど、管理施設や周辺地域に起こり得る被害の様相を参加者自身がイメージし、地図を使って参加者全員が想定される被害状況等を共有する
- さらに、地図上の被害状況に対して、参加者の各班が取るべき対応を議論することで参加者間の連携意識等を向上させる効果が得られるトレーニング



D I G 実施例（昨年度の演習 H26.2.3）

参加機関（順不同）**■班編成**

<山梨県（山梨班）>	<静岡県（静岡班）>
富士吉田市	三島市（所用で欠席）
富士河口湖町	富士宮市
西桂町	富士市
山中湖村	御殿場市
忍野村	裾野市
鳴沢村	長泉町
身延町	小山町
	沼津市（所用で欠席）
<アドバイザー>	
国土交通省 富士砂防事務所	国土交通省 富士砂防事務所
気象庁甲府地方気象台	気象庁静岡地方気象台

■オブザーバー

山梨県	山梨県富士・東部地域県民センター
山梨県峡南地域県民センター	山梨県富士吉田警察
富士五湖消防本部	静岡県
陸上自衛隊第1特科隊	静岡県東部危機管理局
静岡県警察本部（所用で欠席）	山梨県富士山科学研究所